

平成 1 5 年 1 2 月 秋 田 市 議 会 定 例 会 一 般 質 問 者 順 序

秋 水 会	渡 辺 正 宏
市 民 ク ラ ブ	菊 地 達 雄
社 会 ・ 市 民 連 合	宇 佐 美 洋 二 朗
フ ォ ー ラ ム 2 1	土 田 整
共 産 党	明 石 叡
公 明 党	堀 井 明 美
新 社 会 党 ・ 護 憲 連 合	前 田 喜 蔵
秋 水 会	小 木 田 喜 美 雄
市 民 ク ラ ブ	菅 原 弘 夫
秋 水 会	加 賀 谷 正 美

1 市長の政治姿勢について

- (1) 第10次秋田市総合計画の計画初年度における総括について
- (2) 16年度予算編成の基本的な考え方及び財源確保の見通しについて
- (3) 市町合併の具体的なメリットについて
- (4) 不祥事防止について、これまで職員の意識改革をどのように図ってきたのか、また、良好な組織体制のあり方をどのように検討してきたのか、さらに、今後どのような対策を講じていくのか

2 第10次秋田市総合計画の個別事項について

- (1) 「環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまち」づくりについて
 - ア 街路樹の剪定方法に関する基本方針はどのようになっているのか、また、今後方針の変更を検討する考えはないのか、さらに、アメリシロ被害が顕著なプラタナスの植えかえなどを含め、街路樹の植栽樹種の見直し、路線ごとに統一感のある景観づくりに努めるべきではないか
 - イ 「秋田市の公共交通（バス）に関する基本方針」において、「10カ年程度を目途とし実施可能な施策から順次整備を進める」としている整備スケジュールについて、10年タームでの取り組みを遅すぎると考えるものであるが、特に急務を要するバス路線の整備について、基本方針に記載した取り組みに関するこれまでの実績はどのようになっているのか、また、今後の取り組み姿勢はどうか
 - ウ 中通一丁目地区市街地再開発事業については、事業計画案の検証後、準備組合に対してどのような指導を行ってきたのか、また、現段階における今後の見通しはどうか
 - エ 秋田駅前北地区の市街地再開発事業については、未着手の状態が続いているが、市としての基本的な見解と今後の見通しはどうか
 - オ 市営住宅について、バリアフリー化の見通しはどのようになっているのか

いるのか、また、新築に際しての「秋田県バリアフリー社会の形成に関する条例」への対応方策はどうなっているのか

(2) 「豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち」づくりについて

ア 他都市において駅前大型店舗の撤退が商業振興に多大な影響を与え、地域の空洞化を招く現象が多く見られるが、駅前大型店舗が撤退した場合の市としての対応策を考えているのか

イ (財)秋田観光コンベンション協会の移転に関する基本的見解はどうか、また、移転場所について市としてどのように考えているのか

(3) 「安心して健康に過ごす助け合いのまち」づくりについて

ア 自主防災組織の組織率については、年次目標を16年度末で40%に上方修正しているが、これまでの状況を踏まえ、今後どのような具体的方策を講じていくのか

イ 民間住宅の耐震補強について、市として基本的にどのように考えているのか、また、今年度見直しを行う秋田市地域防災計画ではどう取り扱っていくのか

ウ 今後における救急救命士の配置体制について、増員すべきと考えるがどうか、また、救急救命士の勤務状況について、救急隊に常時最低1名は配置できるフレキシブルな勤務体制となっているのか

エ 市立秋田総合病院の救急傷病者の受け入れ体制はどのようになっているのか、また、夜間勤務の医師は通常何人いるのか、さらに、その際、救急医療に精通した医師が配置されているのか

(4) 「可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまち」づくりについて

ア 幼稚園における預かり保育への財政支援について、市としてどのように考えているのか

イ 児童館・児童センターにおける不審者の侵入などに対する安全対策について、勤務状況によって児童厚生員が1名の配置となることがあるが、安全確保の観点から児童厚生員を常時複数配置すべきと考えるがどうか

ウ 図書館の開館時間の延長について、16年度はどのような方向性にあるのか

(5) 「自ら考え主体となって参加する開かれたまち」づくりについて

ア 川尻児童館の老朽化を踏まえ、川尻地区に児童館とコミュニティセンターを合築した複合施設を設置すべきと考えるが、その実現可能性はどうか、また、可能とすればその時期はいつごろとなるのか

1 地方分権の推進について

(1) 都道府県の事務権限に関する総務省の方針について

ア 地方自治法が改正された場合、本市としてどのような対応を考えているのか

(2) 中核市制度の充実強化について

2 交通体系の整備について

(1) 鉄道の充実について

ア 奥羽新幹線及び羽越本線新幹線直通運転の実現の見通しと実現による観光客の拡大や経済波及効果をどのように考えているのか

(2) 公共交通機能の充実について

ア バス路線維持のためバス事業者との話し合いはどのように進んでいるのか

イ 市町合併に伴い面積が約2倍になるが、バスの必要性についてどう対応しようとしているのか

3 国民健康保険について

(1) 14年度の保険税の収納状況、滞納者数及び収納対策について

(2) 国民健康保険の保険者を都道府県単位で統合することについて

(3) 全国市長会が主張する医療保険制度の一本化の今後の見通しについて

4 防災対策の強化について

(1) 自主防災組織結成等促進強化学業の成果及び事業の継続の見通しについて

(2) 市民防災センター設置の検討について

(3) マンションの防災対策の現状について

5 商工政策の課題について

(1) 竿燈まつりにについて

ア 秋田中央道路の工事が竿燈まつりに影響しないかどうか

(2) 融資あっせん制度について

ア 融資の状況について

イ 融資あっせん制度の充実について

(3) 雇用対策の推進について

ア 雇用対策を推進するための体制の強化について

イ 雇用促進プラン策定の検討について

(4) 創業の促進と地元中小企業の支援について

ア 創業を促進するためのチャレンジオフィスあきたの環境整備について

イ 中小企業への支援対策について

(5) 観光について

ア 通年滞在型観光を確立するための具体的な計画について

イ 市町合併による両町の観光資源を生かしたコンベンション都市構想をどのように考えているのか、また、それに対し市のどの部局で対応するのか

6 「健康あきた市21」について

(1) 自殺防止対策について

ア 自殺者を一人でも減らす方策に行政も地域も全力で取り組むべきと考えるが、市としてどのような対策を講じていくのか

イ 自殺原因の調査を行っているのか、また、その結果はどのようなものか

(2) 歯の健康対策について

ア 歯の健康に対する市民ニーズが高まる中、市保健所に歯科衛生士を配置することによって本市の歯科保健事業のレベル向上につながると考えるものであり、また、秋田市歯科医師会からも強い要望が

出ているが、市としてどのように考えているのか

7 福祉の充実について

(1) (仮称)拠点センター内の(仮称)子育て交流室について

ア 各地区の子育てサークルなどの団体や各家庭それぞれの子育て活動との連携をどのように図っていくのか

(2) 保育予算の一般財源問題について

ア 保育所運営費負担金・施設整備費負担金の一般財源化についてどのように考えているのか

(3) ボランティア活動について

ア (仮称)拠点センター内に設置する(仮称)市民活動交流サロンを、どのように活用し、秋田市ボランティアセンターとの連携はどのように図っていくのか

8 本市のまちづくりについて

(1) (仮称)拠点センターについて

ア 工事の進捗状況とテナントの入居見込みについて

イ 子供から大人まで利用しやすく、また、秋田の文化や経済の活性化につながるセンターになるよう期待するが、その決意について

(2) 秋田駅西口駅前広場の再整備計画の内容とスケジュールについて

(3) TMOとまちづくりについて

ア 本市のTMO構想は現在どうなっているのか

(4) 大町地区、横町地区及び中通一丁目地区の再開発事業について

ア シビックセンター構想予定地に市民が広く利用できる施設の設置を計画すべきではないか

イ 都市計画道路川尻広面線の整備の進捗状況と今後の見通しについて

ウ 横町通りまちづくり推進協議会と市の連携によるまちづくり計画は現在どのように進められているのか

エ 中通一丁目地区市街地再開発事業において、市として準備組合に積極的に働きかけ、1日も早い本組合結成に向け支援すべきと思うかどうか

(5) 千秋公園の整備について

ア 整備状況と今後の計画について

イ 建都400年を期し、佐竹史料館の具体的な整備計画を立てるべきと思うかどうか

9 教育の充実について

(1) 学習指導要領の一部改訂による教育効果について

(2) 地域における読書活動の推進について

ア 榎山文庫のような伝統ある団体に対して、今後とも力強い支援を続けるべきと思うかどうか

(3) 教育環境の整備について

ア 16年度以降の学校施設整備計画はどうなっているのか、また、具体的に秋田南中学校の整備計画はどうなっているのか

1 市町合併について

- (1) 市町合併に関する両町の議会での議論と住民の理解、説明の過程についてどのように受けとめているのか
- (2) 合併協定項目の本市の方針に関する市長の判断の必要性についてはどのように考えているのか
- (3) 合併準備による事務量の増加により通常業務に支障は来していないのか、また、職員の配置に特段の配慮はされていないのか
- (4) 両町住民の意見を徴するシステムについてどのように考えているのか、また、その際、財政措置は必要と考えているのか
- (5) 合併後の本市への過疎債の適用について
- (6) 合併に伴う財政措置と合併後の本市の財政見通しについて

2 中通一丁目地区市街地再開発事業等について

- (1) 新聞報道にあったバスターミナルの設置を含めた新しい構想に対してどのような見解を持っているのか
- (2) 準備組合の第二構想が提出され、検証の結果見込みがないとした場合、その後の本市としての対応をどのように考えているのか
- (3) 日赤・婦人会館跡地及び産業会館跡地の利活用について、市として全体的な構想を示す必要があると思うがどうか
- (4) 合併特例債を活用し、市役所本庁舎を移転新設する考えはないのか、また、その際、あわせて芸術文化ホールを含めた市単独での複合施設とすることを検討すべきと思うがどうか

3 SARS（重症急性呼吸器症候群）対策について

- (1) インフルエンザとSARSは、初期症状が似ていることから混乱を招かないよう早急に市民へ周知すべきと思うが対応はどうなっているのか

- (2) 秋田県重症急性呼吸器症候群（SARS）対応行動計画（第6改訂版）の内容と本市の対応について
- (3) 治療のための施設の現状と整備の必要性についてどのように認識しているのか、また、多数の患者が出た場合の対応についてどのように考えているのか
- (4) 港湾管理者である県や検疫所との連携について
- (5) 国に対して財政支援を要望すべきと考えるかどうか

4 市職員の健康管理対策について

- (1) 職員の健康管理対策について、どのようなことを実施しているのか
- (2) メンタルヘルスに起因する症状により休暇をとっている職員はどれくらいいるのか
- (3) 職場における安全衛生委員会の設置状況及び開催状況はどうなっているのか、また、メンタルヘルスについての相談体制はどうなっているのか

5 スポーツ施設の充実について

- (1) 多目的人工芝グラウンドの設置について
- (2) ハイレベルな競技を観戦するためプロスポーツの試合誘致などに市が仲介役を果たすべきと考えるかどうか
- (3) 八橋陸上競技場への観戦用大型スクリーンの設置について

6 子育て支援策について

- (1) （仮称）子育て交流室に移転が予定されている相談機能については本庁舎に残すべきと思うかどうか
- (2) DVや児童虐待に関する相談員の増員について

7 水道事業について

- (1) 浄水場の管理運営等の民間委託に関する基本的な考え方と今後の方

針について

- (2) 給水収益が減少傾向にある中、健全経営を維持していくための方策をどのように考えているのか
- (3) 地震などの災害時における応急的な給水体制及び水道管路などの被害を最小限に抑えるための強化策はどのようなになっているのか
- (4) 職員に対する研修について

1 中心市街地のまちづくりについて

- (1) 「コンパクトで成熟した市街地」をつくるための具体的な施策について
- (2) 中通一丁目地区市街地再開発事業に対する市の考え方について
- (3) 「複合機能都市」形成の必要性について
- (4) 「複合機能都市」における高齢者向け居住空間の整備について
- (5) 千秋公園及び佐竹史料館の整備について

2 秋田市太平山自然学習センターについて

- (1) センター及び周辺でのヤマビルによる被害に対する具体的な対策と薬剤散布した場合の環境汚染などの二次的被害について
- (2) 自然と共存しながら安心して利用するための施設運営について

3 福祉行政について

- (1) 高齢者福祉施設の増設等、整備量の見直しについて
- (2) 知的障害者施設の整備目標について
- (3) 知的障害者施設のサービス内容の充実について
- (4) ノーマライゼーション普及のための具体的な施策について

4 入札制度について

- (1) 入札における地元中小企業の健全な経営の支援について
- (2) 指名業者決定の基準とその根拠について
- (3) 業者登録の際の登録区分と資格審査の基準について
- (4) 低入札価格調査制度の本市の現状について
- (5) 最低制限価格制度の試行実施の状況と今後の導入見通しについて

1 市長の政治姿勢について

(1) 自衛隊のイラク派兵と憲法第9条について

ア 市長は、自衛隊のイラク派兵はやめて憲法第9条をしっかりと守るよう政府に申し入れるべきと思うがどうか

2 市町合併について

(1) 市独自に、河辺、雄和両町の財政シミュレーションを十分に検討しないで、どうして合併により多くの課題が解決されるとの結論が出てくるのか

(2) 地域審議会について

ア 地域審議会はどのような性格、内容、構成人員、予算を持った組織として検討されているのか、また、住民自治の充実・向上に十分機能を果たすことができるのか

(3) 住民投票の実施について

ア 合併特例債に誘惑されて合併するのであれば、本市行政の質を低下させることになり、どうしても合併を進めるなら住民投票を実施すべきではないか

3 教育問題について

(1) 30人程度少人数学級の拡大について

ア 少人数学級を実施して、児童生徒や保護者、教職員の評価はどうか

イ 少人数学級の拡大実施について、県との協議はどのように進めているのか、また、来年度以降の実施の見通しはどうか

(2) 小中学校の学校図書館に対する学校司書の配置について

ア 学校図書館の充実を図るため、司書教諭の配置とともに、専任の学校司書を配置するべきではないか

(3) 小中学校の体育館の暖房設備について

ア 小中学校の体育館の暖房設備について、今後の整備計画はどうなっているのか

(4) 学校内での禁煙について

ア 学校内での禁煙について、これまでの取り組みと今後の実施計画はどうなっているのか

(5) 御所野学院中学校への進学について

ア 御所野学院中学校への進学に際しては、選別が行われているのではないかと懸念されており、地域の学校としてすべての児童を進学させるよう指導と対策を講ずるべきではないか

(6) 小中学校の二学期制への移行について

ア 二学期制のメリット、デメリットは何か

4 秋田中央道路の建設について

(1) 中通一丁目地区市街地再開発事業と秋田中央道路の建設について

ア 秋田中央道路の建設は、県民・市民が望んでいるこの地区の再開発の方向とは、相反すると思うがどうか

5 安全な環境とまちづくりに関する市民要望への対応について

(1) 生活道路の除排雪について

ア 除排雪作業は、除雪と排雪という2つの作業が一体として行われるべきと思うがどうか、また、排雪については、もっと丁寧にするべきと思うがどうか

イ 身体の不自由な方や高齢世帯の周辺の除排雪に際しては、どのような配慮がなされているのか、また、そのような方や世帯の把握はしているものか

(2) 街灯の設置について

ア 歩車道が分離されている道路は、歩道側を照らすようにできないか

- イ 学校や町内会の境界付近の暗いところに防犯灯を設置できないか
- (3) 倒壊の危険性のあるブロック塀への安全対策について
 - ア 倒壊の危険性のあるブロック塀の調査をすべきではないか
 - イ 倒壊の危険性のあるブロック塀の改善について、指導勧告すべきではないか
- (4) 明田地下道の歩道の安全対策について
 - ア 指導員の配置などを検討すべきではないか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 法定協議会における協議が進み、市民の合併に対する関心も高まりを見せるなど状況が変化する中であって、合併後の新市のまちづくりに対する市長の心構えはどうか
- (2) 第10次秋田市総合計画と合併における新市の建設計画との整合性はどのようになっているのか

2 教育行政について

(1) 不登校対策について

- ア 不登校児童生徒は、全国的には減少傾向にあるが、本市の現状をどのように認識しているのか
- イ 適応指導教室「すくうる・みらい」の運営状況と成果はどのようになっているのか、また、卒業もしくは復帰後の生徒の実態把握は行っているのか
- ウ 教職退職者等によるNPO法人もしくはボランティアを活用し、在宅学習支援制度の創設は考えられないのか
- エ スクールカウンセラーの設置状況と成果はどのようになっているのか、また、未設置の学校における対応はどのようになっているのか

(2) 障害のある子供たちへの支援について

- ア 学習障害（LD）、注意欠陥・多動性障害（ADHD）及び高機能自閉症を含む特別な支援を要する児童生徒の実態と取り組みの状況について
 - イ 障害のある児童生徒の地域の小中学校への就学に対する見解と対応について
- (3) すくうるサポート事業「さくらプラン」の運営状況はどのようになっているのか

(4) 「インターネット異性紹介事業を利用して児童を誘引する行為の規制等に関する法律」の施行に伴い、児童生徒や保護者にどのような指導や対応をしたのか、また、法律の内容等を広く市民に周知する必要があると思うが、どのように考えているのか

3 子供を取り巻く諸問題を解決するための方策について

(1) 子供を取り巻く諸問題を解決するため組織体制の一元化を含め、どのように考えているのか

4 地産地消について

(1) 地産地消を推進する上で、学校給食への取り組みをどのように考えているのか

5 福祉行政について

(1) 高齢者介護施策について

ア 従来「介護保険施設の建設については困難」としてきた議会答弁が、「第3期介護保険事業計画策定の際検討する」と変わってきているが、その背景は何か

イ 入院患者がスムーズに在宅での生活に移行できるよう病院とケアマネジャーとの連携強化について市として指導はできないのか

ウ 広報あきたで現実に在宅介護をされている方の特集があったが、今後も掲載をすべきと思うがどうか

エ 特別養護老人ホームにおける新しい入所基準の運用の実態を把握する必要があると思うがどうか

(2) 高齢者福祉施策について

ア NPO法人等を活用して「お元気コール」の回数をふやすことは考えられないものか、また、「お元気コール」を通して各種相談を受けるなど内容の充実を図ることはできないのか

イ 高齢者福祉バスの実施について検討する考えはないのか

(3) 緊急を要する保育所入所希望者への対応について

6 防災対策について

(1) 地域の女性、中・高校生、大学生を含めた自主防災組織編成は考えられないのか

(2) 災害等の情報を電子メールで配信するサービスはできないのか

1 市長の政治姿勢について

(1) 議会における平成15年9月定例会でのイラクへの自衛隊派遣反対に関する意見書の提出を踏まえ、痛恨にたえない11月29日のイラクでの日本人外交官殺害事件が発生した事態の中で、市として明確に自衛隊のイラク派遣に反対し、国及び全国会議員に対して、自衛隊のイラク派遣中止を求める要望書を提出すべきと思うがどうか

(2) アジアそして世界の平和のために朝鮮民主主義人民共和国の核廃絶及び日朝国交正常化が必要と考えるものであり、そのためには拉致問題を中心とした経済制裁などの敵対行為的な措置より、多面的、多角的な話し合いによる交渉の継続によって外交が進められるべきと思うがどうか

(3) 今次衆議院議員総選挙について

ア 全国での投票率59.86%（小選挙区）、特に本市における、有権者約10万人が棄権したことになる戦後最低の投票率58.79%（小選挙区）、衆院選として最高の無効票4,617票、その50%を超える白票2,602票などを見ると政治不信のあらわれと思うがどうか、また、揺れ動く国内外の情勢の中で、大きな座標軸としての日本の進路をめぐる争点も不明瞭のまま、二大政党論が全面に出され、かつ、リストラが進む中、逼迫した国民生活に対する明確な対策もなく、ただ改革のかけ声に終止した実情が低投票率になったと思うがどうか

イ 小選挙区制は民意を反映できると考えているのか、また、今後予測されている衆議院比例区の定数削減については、ある政党案では、現行180議席を100議席に削減することが出されており、これは民意をさらに死票にするとともに、少数政党の存在を否定するものであり、民主主義による多面的な政治選択をつぶすことになると思うがどうか

ウ 護憲派政党が議席を大幅に減らしたが、そのことが国民は護憲を

捨て、憲法第9条を否定し、戦争のできる普通の国としての選択を行ったことになると思うか、また、有効票、無効票及び棄権のどれをとっても戦争に賛成する人はいないと思うかどうか

(4) 市町合併について

ア 地方制度調査会は、11月13日に合併に関する最終答申の中で合併を促す町村の規模を1万人未満とすることを決めたが、この人口規模の明示は、小規模自治体の切り捨てであり、強制だとの批判が直ちに出了たが、市長はどのように考えているのか、また、多様な形態の自治体の存在を認めることが自治の原点だと思うかどうか

イ 11月14日号の広報あきたの市長コラムでの「市町村合併の流れの中で合併を選択しない市町村もあるが、県内で税収より職員給与費が上回っている市町村が56もあり、その差額は大都市の住民から国を経由して交付税でもらっていることになり、これが一概に悪いとは言えないが、その現実を認識すべきで、住民に知ってもらふべきである」との記載について

(ア) 地方交付税制度を歪曲するような表現だと思うかどうか

(イ) 56の自治体に対し合併促進を働きかけていると受けとめざるを得ないかどうか

(ウ) この記載内容は、越権行為であり、56の自治体の行政に対する介入行為と思うかどうか、さらには、56の自治体の住民に対する言われなき誹謗になると思うかどうか

(エ) 56の自治体の税収及び職員給与費について本市にとってどのような必要性があつて言及したのか

ウ 市町合併に伴う事務事業の調整は、市長説明では概ね50を数える合併協定項目の中で9月定例会以降13件の決定をしたとなっているが、その他は順調に進んでいるのか、また、特に三者間での調整が難しいものは何か

エ (財)雄和町育英会の約18億円と言われる負債問題で秋田市の負担の限界はどこまでと考えているのか

オ 50を超える項目の調整において、十分な合意がないままに秋田市の制度に統一するようなことはないか

カ 今後の状況によっては1市1町合併という事態が想定されることはないか

キ 本市合併推進局設置以降、合併完了までの合併にかかわる市の経費負担はおおよそどのくらいで、その内容はどのようなものか、また、合併に伴う合併特例債の額は幾らか、さらに、それに伴う償還の市の負担額は幾らか

(5) 秋田市建都400年記念事業と高清水公園と一体化した史跡秋田城復元について

ア 秋田市建都400年記念事業は、市民の関心も高く盛り上がってきており、近世の歴史に息づく秋田市として立派にその計画を進めてほしいが、加えておよそ1,250年の歴史を有し古代最北の城柵官衙遺跡である秋田城跡も、今年第82次発掘調査で東脇殿が確認されるなど、発掘が進めば進むほど市民の関心が高まってきていることから、これを生かしたいと考えるものである。この国府として存在した秋田城は、まさに本市の原点であるとともに、書「雪原のフロンティア」にあるように、渤海国の王女と大和騎馬武人の平城京に到着するロマンにあふれた原点でもある。また、古代渤海国との交流のため設置されたと推測される3基の水洗トイレは、平城京にもない三内丸山遺跡などの特別史跡にも匹敵する全国ただ1カ所の古代水洗トイレであり、このように歴史的価値の高い秋田城の復元は、千秋公園とともに、物語のあるまちづくりの根幹をなすものと位置づけることができる。したがって、その復元及び施設整備の促進に当たっては、勅使館などの古跡にあふれた高清水公園と一体化したものとするとともに、秋田市建都400年記念事業を契機に普通の史跡、遺跡の復元計画ではなく、地方として画期的な計画を立案し、全国の関心を集め、これが秋田市と大いに宣伝できる歴史と文化の一大観光資源にすべきと考えるものであり、そのための予算措置を

含めた取り組みへの決意はどうか

イ 秋田城跡の中心にある政庁域復元工事については、平面表示及び標柱による復元ではなく、政庁の建物そのものの復元工事を行うべきではないか、また、その場合、建物面積規模の概要と事業費の概算はどの程度となるのか、さらに、これらについて史跡秋田城跡環境整備指導委員会とともに具体的に取り組むべきと思うがどうか

ウ 資料館建設についてその年次計画はどうなっているのか

エ 仙北町の払田柵跡で約7,000人も多くの人を集めている花火も打ち上げる平安行列を参考に、秋田城跡東門を中心とした古代官人、兵士、農民等による行列や古代秋田城の役割、仕事内容としての軍事・戸籍事務などの執務状況を再現するなどのイベントと夜間のうたげ的な行事を組み合わせた企画などを地元と協議し、毎年夏ごろ開催することを活性化対策の一環として計画し実現するために予算措置をすべきと思うがどうか

オ 秋田市建都400年を記念し、佐竹氏の原点である常陸太田市に佐竹氏供養の墓碑を寄贈すべきと考えるがどうか

2 平成16年度予算編成に当たり、議会における15年度予算審査における要望、14年度決算審査における要望、請願・陳情の審議結果、さらには市民からの要望、加えて先進市の施策を考慮した上で、各部局長、教育長並びに消防長が構想する施策及び事業について

(1) 現段階で構想する新規の施策及び事業は、各部局ごとにそれぞれどのようなものか

(2) 各種要望や他市の状況から判断した結果、現段階で事業の見直しを図ろうとしているものや今まで以上に重点的に進めようと考えているものは、各部局ごとにそれぞれどのようなものがあるのか

(3) 受益者負担の増、あるいは新たに受益者負担を設定しようとしているものは、各部局ごとにそれぞれどの程度あるのか、あるとすればどのようなものか、また、その理由と根拠は何か

3 機構改革について

(1) 16年度に行う機構改革はあるのか、あるとすればどのようなものが

4 まちづくり問題について

(1) 住環境と景観を破壊するマンション等の建築物の規制について

ア 現行の都市計画法及び建築基準法において、市民の住環境を守るために、建築物の高さの制限を初め、市として何を問題点として認識しているのか、また、それらについて国に改善を求めていくべきと思うかどうか

イ 平成10年に千秋地区におけるマンション問題の紛争が起きた当時は、都市開発部が住民の立場を守るためき然とした態度で業者に立ち向かい、裁判で争ったという経緯があるが、その後の同様の紛争を見たとき、地区計画と建築協定など住民が独自のまちづくりのルールをつくることについて、早期の情報提供の徹底と積極的な行政指導があれば、最近起こった紛争を未然に防ぐことができたと思うかどうか

ウ 東京都江戸川区では、市街化区域の4分の1にわたる地区を高さ16メートル以下に規制する用途地域の見直しを促進し、平成16年夏ごろまでに都市計画決定するとしているが、本市もただ地域に任せるのではなく、行政が主導的・積極的に住環境を守るよう対応すべきと思うかどうか

エ 土崎港南二丁目地内の株式会社穴吹工務店によるマンション建設問題について

(ア) 調停案は低層を求めた住民要望に触れておらず、これでは高さに対して何の解決にもなっていないが、これで調停案になるものか、また、このような調停のあり方に住民は疑問と不信感を持っており、問題があると思うかどうか

(イ) 調停後の当事者間の状況と市の指導、助言はどのようになっているのか、また、例えば、工事中の騒音、振動、補償、電波障害

等に関する住民の苦情、業者に対する不信感をどう把握しているのか

(ウ) 平成15年2月定例会で採択された関連の請願に対する市長からのその後の処理の経過および結果に関する報告について

a 請願の2項である「株式会社穴吹工務店に対して、当事者である経営責任者の出席のもと、速やかに地域住民との対話を行い、その合意により『住民の意思を最大限取り入れた低層建築計画への変更の検討』をされるよう強力に指導・助言すること」について、市は4月9日の調停案受諾後「事業の実質的責任者である(株)穴吹工務店東北支社副支社長に対し、住民の意向を取り入れた計画とするよう再考を促した」とあるが、建築主であり、施工者である本社代表取締役社長に対して住民の意向を取り入れた計画とするよう再考を促さなかったのはなぜか

b 請願の3項である「市当局は、住民の意向を十分取り入れたまちづくり計画を策定し、低層住宅地帯における高層マンション建築等における住民とのトラブルが発生することのないような、効果のある条例や地域協定等を早急に策定すること」について、市は「中高層マンションの建築が条例に従って概ね自主的に問題解決が図られ、一定の効果を発揮していることから、その改正は想定していない」とあるが、住民不満の中で泣く泣く承諾したものであり、なお今日その不満は10本の反対の立て看板として表示されており、なぜ一定の効果を発揮していると言えるのか、また、全市的な問題として効果のある条例を求めているにもかかわらず、条例化も条例改正もしないのはなぜか

(2) 自然環境の保全について

ア 秋田中央道路建設と山王十字路交差点の拡幅により、竿燈大通りからケヤキが41本移設され、通称新国道でも街路樹が伐採されるなど、まちの緑が消滅し自然景観が破壊されていることについて、市

としてどのように考えているのか

イ 自然環境保全条例の罰則10万円は、他市の例に見られる懲役を科すことに比べゆるい規定であり、自然環境を守るためにもっと罰則を厳しくすべきと思うがどうか

5 市長公約の日本一の福祉都市づくりについて

(1) 高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉、介護サービス福祉等において、他都市との福祉水準の差を埋め、それを乗り越えなければ日本一にできないと思うがどうか

(2) 中核市間における本市の福祉水準の位置づけを明確にするため、民生費の比較ではどうなっているのか

(3) 同じく福祉日本一を目指す人口約3万5,000人の新潟県加茂市では、一例としてホームヘルパー60人によって手厚い在宅介護が行われ、しかもホームヘルプサービスと訪問看護の利用料はすべて市の負担で無料であり、施設入所待機者はゼロであるが、秋田市ではホームヘルパー268人であり、かつ利用料をとっており、日本一の福祉都市を目指す本市としてこれをどう思うのか

(4) 仮に市町合併した場合の日本一の福祉都市づくりについて

ア 具体的に高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉、介護サービス福祉それぞれの日本一になる年次はいつか

6 市有地の道路整備について

(1) 平成16年度末までに市が国から譲与を受ける法定外公共物のうち、道路敷、農道を含む里道及び下水道敷のそれぞれの件数は幾らか、また、今後の整備計画をどのように考えているのか

(2) 今後市有地となる農道を含め、現状の農道で公共道路として利用されている農道の路線数と整備状況並びに今後の整備計画はどのようになっているのか

(3) 過去に市に寄附された土地で市道認定基準の要件を満たさないが、

現に公共道路として利用されている道路は市内に何カ所あり、そのうち舗装側溝などが整備されている箇所は何カ所あるのか、また、未整備箇所の今後の整備についてどのように計画しているのか

- (4) 私道整備補助金を受けて整備後10年以上経過した私道の維持管理を市道並みに行ってもよいと思うがどうか

7 行政の市民との対話について

- (1) 今年度、日常業務において、市民相談を専門とする市民相談室以外の各課窓口や課所室で、市の対応が不十分であったために市民と口論になったり、電話や文書、投書などで市民から不信を表明された事例については、各部局ごとにそれぞれどのようなものがあったのか、また、それに対してどう具体的に対応したのか

- (2) 市民サービス向上研修の一環として各課所室に掲示している「私たちは笑顔とあいさつで市民の皆様をお迎えします」とした張り紙が、いつの間にか庁内から少なくなってしまったのはなぜか

8 平成19年秋田国体に向けた八橋運動公園整備事業における経費節減について

- (1) 多目的グラウンド用地として県職員グラウンドを約4億1,500万円で購入したが、これまでの議会における討論などでも指摘してきたとおり、国体が目的であるなら県有地を購入するのではなく、無償提供してもらおうべきと考えることから、県に対して無償提供について再交渉し、さらに経費節減に努めるべきと思うがどうか

- (2) 平成14～17年度で継続費を組んでいる八橋運動公園整備事業の工事請負費の予算額は約18億円で、14、15年度2カ年分では約8億8,000万円となっているが、この予算額に対して14年度の実績と15年度の見込みはどのようになるのか、また、経費を節減する努力を行っているのか、さらに、16、17年度の節減努力についてはどう考えているのか

9 除排雪について

- (1) 従来の4億円の当初予算では、従来と同じ除排雪になると考えるものであり、例えば、青森市においては約18億円の予算を計上し、排雪場をふやして排雪努力をしており、また、市民からは狭隘な生活道路などで排雪場がない、車も歩行者も危険な道路が多いなどの具体的な要望が多く出されていることから、本市においても今冬は、排雪経費だけでも3億円を計上し、市民が望む排雪を実施すべきと思うがどうか、また、寺内地区から毎年要望のある寺内コミセンを中心にした狭くて危険な旧国道について第一義的に着手すべきと思うがどうか
- (2) 市道、私道の区別をしない除排雪と高齢者、障害者等の自宅玄関先の排雪を速やかに行うことについて、どのような対策を考えているのか
- (3) 平成12年6月定例会において全市的な融雪設備の設置促進を求める陳情を採択しているにもかかわらず、なぜ市は実施しないのか

1 市政運営に対する市長の基本姿勢について

- (1) 全国市長会副会長及び税制調査会委員への就任を今後の市政運営にどう反映していくのか
- (2) 第3次秋田市行政改革大綱の推進に当たって、市民との役割分担と地域との協働についてどのように考えているのか

2 財政について

(1) 三位一体改革による税源移譲について

- ア 国から税源移譲を受けた場合の組織、体制づくりについて
- イ 移譲された税源の税収確保にどのように取り組むのか

(2) 新予算編成システムについて

- ア 新予算編成システムの目的とねらいは何か、また、メリット、デメリットは何か
- イ 重点・大型事業など多額の経費を要する事業にはどのように対応するのか
- ウ 部局間の予算配分、調整はどのように行うのか、また、全庁的・長期的視点から秋田市総合計画との整合性をどのように図っていくのか
- エ 各部局での新政策に対する予算枠限定により、事業が縮小したり偏ったりしないものか
- オ 予算枠配分により職員個々の考えが反映されにくくなり、新たな発想を阻害したり仕事に対する意欲の低下につながらないか

3 福祉について

(1) 障害者の社会参加について

- ア 障害者のバス運賃無料化事業の対象範囲と対象者数について
- イ 障害者のバス運賃無料化事業の利用実態を把握してその対応をし

ていくべきではないか

ウ 障害者への通院支援について事業内容はどうなっているのか

エ 通院のためのタクシー券の助成制度を拡充すべきと思うがどうか

(2) 地域福祉計画推進事業について

ア 16年3月の計画策定に向け、地域ごとに開催しているワークショップの開催状況はどうか

イ 市民との合意形成をどのように目指していくのか

ウ 各地域ごとの特性及び環境などに相違があるが、地域別計画を作成する考えはないか

4 最近の消費者トラブルについて

(1) 本市における消費生活相談件数と相談体制及び相談への対応はどのように行っているのか

(2) 消費者トラブルの拡大防止や未然防止のための対応はどうなっているのか

(3) ヤミ金融に関する相談件数と被害者への対応はどうなっているのか

(4) 消費者トラブルへの対応に当たり関係機関との連携はどうなっているのか

5 コミュニティセンターの管理運営について

(1) コミュニティセンターにおける指定管理者制度の導入のメリット、デメリットは何か

(2) 住民サービスの低下はないか、また、市としてのかかわりはどのようになるのか

6 教育関係について

(1) 「はばたけ 秋田っ子」教育推進事業について

ア 事業の成果及び問題点について

イ 「総合的な学習の時間」との関係もあり事業の大胆な見直しをす

べきではないか

(2) 地蔵田遺跡復元整備事業について

ア 地域や諸団体からの協力を得て、積極的に事業を推進すべきではないか

イ 弥生時代を彷彿させるような体験学習ができる、「弥生っこ村」にすべきではないか

ウ 四ツ小屋遺物収蔵庫を市民の目に触れるような場所に移設し、管理をすべきではないか

7 秋田わか杉国体について

(1) 夏季秋季一本化についてのメリット、デメリットは何か

(2) ボランティア団体、地区体育協会などの市民団体について、どのように国体に参加させていくのか

(3) 選手強化は県が実施しているが、市としてジュニア層の育成に当たりどのような立場で具体的に対応しているのか

8 大森山動物園の今後について

(1) 大森山動物園の将来展望をどのように考えているのか

(2) 動物に関する資料室などを備え、動物についてのさまざまな学習が可能な「動物館」などの施設を充実すべきではないか

(3) 国・県の支援を得て、老朽化した動物病院や管理棟を含め、さらに施設を充実すべきではないか

(4) 観光施設でもあることから民間活力を入れ、売店の充実、いやしの喫茶店の設置などを行ってはどうか

(5) 大森山動物園管理規則を見直し、大森山動物園条例を制定すべきではないか

9 農業試験場跡地の利活用について

(1) 今後の利活用についてどのように進めていくのか

(2) 県・市双方の構想について協議していく時期にきているのではない
か

1 市長の政治姿勢について

- (1) 衆議院総選挙では二大政党の方向に向かっているようであるが、今後の国のあり方はどう変わると考えているのか
- (2) 陸上自衛隊が駐屯する市の首長として、イラクへの自衛隊の派遣は日本の国益に結びつくと考えているのか、また、派遣については賛成か反対か

2 地方分権の推進について

- (1) 平成9年4月に本市が中核市に移行し、2,275項目の事務の委譲を受けたことによって効率化した業務としてはどのようなものがあったのか、また、そのことにより行政コストの削減に結びついたのか
- (2) 市町合併について
 - ア 合併協議会における協議の進捗状況と現在の問題点について
 - イ 議員の定数の取り扱いについて、平成における自治体合併の事例はどうなっているのか
 - ウ 本市と河辺、雄和両町とで合併に関する事項について調整中であるが、調整がつかない場合、合併にはどのような影響が考えられるのか
 - エ 合併特例債の活用にあたりどのような条件があるのか
 - オ 合併特例債の償還方法はどのようになるのか、また、特例債の償還は後年度本市の財政に多大な負担を強いることにならないのか

3 国及び県に要望する主要事項について

- (1) 15年度の要望事項について、どのような成果が得られ、総体でどのくらいの補助金となったのか
- (2) 16年度の要望事項の実現の見通しはどうか、また、どのような形で要望しているのか

4 平成16年度予算編成について

(1) 予算編成の基本方針について

ア 三位一体改革等において、16年度の本市の財政をどう見通しているのか、また、予算編成の基本的考え方はどうか

(2) 14年度決算を審査した決算特別委員会において会派から出された意見、要望については、16年度予算を編成するに当たり、どの程度反映できるのか

5 固定資産税について

(1) 土地の評価額は固定資産の価格となるが、どのように価格決定されるものか

(2) 土地の評価方法については、市民にどのように周知しているのか

(3) 評価額について、市民の納得が得られず、市民からの苦情や問い合わせが過去3年以内に何件あったのか、また、どのように対応したのか

6 市有地の管理について

(1) 台帳上登載され現地確認できない土地が包括外部監査の結果報告書により報告されているが、なぜ生じたのか、本市の貸借対照表にはどのように計上されていたのか

7 教育について

(1) 外国人による英語指導助手招へい事業の状況について

(2) 本市での小学校における英語活動の必要性と取り組みの状況について

(3) 情報教育環境整備事業の推進状況について

(4) 心の教育（道徳教育）のあり方について

ア 心を育てる教育の充実について

(5) 児童生徒の自転車利用者に対する交通安全教育の徹底について

8 危機管理体制等について

- (1) 災害等が発生した場合、高層建築物や中高層マンションの入居者等による消火活動や避難はどのように行われるのか、また、どのようにして訓練を指導しているのか
- (2) 救急メディカルコントロール体制における成果と問題点は何か、また、11月末までの包括的指示下での除細動、いわゆる指示なし除細動を実施した件数と状況について
- (3) 自主防災組織結成等促進強化事業の実施による11月末現在の自主防災組織の結成状況と今後の見通しはどうか、また、防災訓練のマニュアルは組織結成された町内会に配布しているものか
- (4) 水道水の取水口や浄水場に毒物等の混入を防ぐために、どのような対策を講じているのか、また、毒物混入などの非常事態が発生した場合、飲料水の供給はどのように行うのか

9 介護保険について

- (1) 家族介護用品の支給状況について
- (2) 家族介護慰労事業の状況と今後の見通しについて
- (3) 在宅介護支援事業の実施状況はどうか、また、予算額約3,900万円に対し、執行額が極端に少ないようだが理由は何か、それに対する対応策は考えているのか
- (4) 今年6月から特別養護老人ホーム入所ガイドラインが改正されたが、施設入所希望者で介護の必要度や家庭の事情により入所した方は何人いるのか、また、入所待機者が何人おり、今後の対策はどうなっているのか

10 病原菌対策について

- (1) 妊婦のHIVの母子感染対策はどのように行っているのか
- (2) 食品に使用された医薬品から派生する多剤耐性菌の影響についての本市の考え方とその対策について

11 国際化（グローバル化）する本市について

- (1) 11月末日現在秋田市在住の外国人で結婚している方は何人で、子供を抱えている方は何人か
- (2) 市内在住の外国人が、家庭内の悩みや生活上の問題など、困り事を抱えたときの相談にはどのように対応しているのか

12 コミュニティセンターについて

- (1) 今まで職員（嘱託職員、警備員）の対応について市民からの苦情などはなかったのか、また、あった場合どのように対応したのか
- (2) 職員（嘱託職員、警備員）の採用基準はどうなっているのか
- (3) 市民に直接対応する職員（嘱託職員、警備員）の研修はどのように行っているのか

1 財政について

(1) 健全な財政の構築について

ア 本市の将来を担う子供たちに憂いを残すことのないように、健全な財政を構築するため全庁的な検討委員会を設け、中長期的な財政計画をつくるべきと思うがどうか

イ 健全な財政を構築するためには、確固とした理念と創意工夫が必要と思うがどうか

2 少子化問題について

(1) 第10次秋田市総合計画における少子化対策について、これまでの主な施策の進捗状況はどうか

(2) これまで取り組んできた施策に対する評価と課題はどうか

(3) 少子化対策として社会全体を視野に入れた取り組みが必要とされているが、市としてのこれまでの取り組み状況はどうか、また、今後どのように取り組んでいくのか

(4) 次世代育成支援対策推進法についての取り組み状況はどうか

3 教育行政について

(1) 大阪・池田小児童殺傷事件を教訓としての本市の対応について

ア 学校現場で事件に対する認識が希薄になっていないか

イ 市ではどのような取り組みをしたのか、また、学校での取り組み状況はどのようになっているのか

ウ これまでの取り組みについての評価と今後の考え方について

(2) 児童生徒が関係した一連の事件について

ア 児童生徒が被害者になった事件に対する見解とその対応について

イ 児童生徒が加害者にならないため、どのような教育が必要と考えているのか

(3) 教員の評価システムについて

ア 教員の指導力が児童生徒の人間形成に大きな影響を持っているが、教育現場での「指導力不足教員」についての現状把握と対応はどうなっているのか

イ 教員の評価システムに対する見解について

(4) 司書教諭の配置について

ア 配置の現状と今後の考え方について

(5) 二学期制について

ア 児童生徒の反応も含め、これまでの評価と問題点はどうか、また、新年度からどのように取り組むのか

4 雇用問題について

(1) 緊急課題である経済・雇用対策のこれまでの評価と課題について

(2) 新卒高校生の就職支援にどのようなかわり方をしたのか

(3) 新しく誘致した株式会社プレステージ・インターナショナルへの高校生の就職状況はどのようになっているのか

(4) 今後の経済・雇用対策に対する考え方について

5 危険物貯蔵タンクについて

(1) 本市の危険物貯蔵タンクの設置状況はどのようになっているのか

(2) 苫小牧市でのタンク火災発生前後の本市での管理指導体制について

6 住民基本台帳ネットワークシステムについて

(1) 住民基本台帳ネットワークシステムに、外部から侵入することが可能であると一部で言われていることに対する見解と対応はどのようになっているのか、また、市として検証する考えはないのか